りすぐみだより

２０２５年度５月号　　尚徳福祉会生麦保育園

さわやかな風が吹く５月。子どもたちが作ったこいのぼりが気持ちよさそうに保育室内を泳いでいます。進級・入園から１カ月が経ち、新しい環境にも慣れ安心してくれている様子が伝わってきます。

こいのぼり制作

今年度のこいのぼり制作は、マーブリングとなぐり書きに挑戦！

マーブリングでは子どもたちが選んだ色を３色使い、水面に浮かんだインクにふ～」と息を吹きかけてその上に画用紙をそおっと置きました。息の吹きかけも、紙を水面に浮かべるのも力加減がポイント！ドキドキしながら見守っていたのですが、保育士の「やさしくね」という言葉に少しずつ息を吹きかける子や「し～」と小さい声になり、周りも緊張する様子も見られました。

なぐりがきでは、油性のクレヨンに興味津々！力強く描くことができるようになり、色を重ねたり「ぐるぐる」と声に出して線に動きを付けたりして集中して取り組んでいましたよ♪

一人一人の個性が見ていて楽しいこいのぼり、ぜひお家でも飾ってくださいね♪

ちなみにこいのぼりのことを「大きいさかな」というりす組です(笑)

新しい1年が始まりました

進級して新しいお友だちが２名りす組に来てくれました。はじめはお互いに様子を探るような姿が見られていて、緊張している場面もありました。在園児の子どもたちは、新しい子のマークにすぐに気が付き保育者に「これはだれ？」「あたらしいお友だち？」と気になる様子。１カ月が経ち、今ではすっかり名前を呼んで一緒に遊んだり「これ、はい」とカラー帽子を渡したりして距離が縮まってきているようです。新入園児のお友だちも、はじめは保護者の方と離れることに不安を感じていたようですが、今ではすっかり涙が見られる時間も減りかわいい笑顔を見せてくれます。これからどんな１年になるのか、今からとても楽しみです！

集団生活のなかで…

成長と共に子どもたちは言葉が増えてきましたが、まだまだ言葉で気持ちを表現することが難しく、咄嗟に手や口が出ることもたくさんあります。そのような時は保育者が必ず仲裁して、子どもの気持ちを代弁したり時には「してはいけないよ」と相手に手を出すことを注意したりすることもあります。今の子どもの姿が「良い・悪い」と判断するのではなく、成長の過程として捉え、保護者の方にも共有し一緒に見守っていきたいと思っています。イヤイヤ期の悩みや発達について、家庭での些細なことでも大丈夫ですので、何かありましたら担任までお知らせください。

おしらせ

- ５月１７日(土)午前中にクラス懇談会があります。詳しくは別紙にておしらせします。
- 気温が高くなり、日中汗ばむことも増えてきました。着替えの中に半袖や、薄手の長袖を入れてください。裏起毛のトレーナーや園用の上着は持ち帰りをお願いします。
- 廊下に置いてある布団は個人のものです。布団の上に子どもが乗らないようにしてください。窓から落下したり、布団から落ちて怪我をしたりする可能性もあります。